

昭和三十三年十月四日
第五回臨時會公議錄

昭和三十三年館山市議会第十五回臨時会公議録

一 昭和三十三年十一月四日午前十時館山市議会第十五回臨時会を館山市役所分館会議室に招集

一 出席議員（三十四名）

- | | | | |
|------|--------|------|---------|
| 一 番 | 石 井 潔 | 二 番 | 高橋 文治 |
| 三 番 | 伊勢仙之助 | 四 番 | 小 浜 光義 |
| 五 番 | 後藤 中三 | 六 番 | 秋山 万次 |
| 七 番 | 鈴木 市蔵 | 八 番 | 金 木 久一 |
| 九 番 | 中西 政治 | 一〇 番 | 田 中 録郎 |
| 一一 番 | 脇田 順一 | 一二 番 | 吉田 勇治郎 |
| 一三 番 | 小 沢 太助 | 一四 番 | 中 村 良五 |
| 一五 番 | 小 谷 無運 | 一六 番 | 田 村 孝兵衛 |
| 一七 番 | 嶋 貴 江作 | 一八 番 | 佐久間 昌次郎 |
| 一九 番 | 黒川 佐太郎 | 二〇 番 | 山口 房治 |

二番 小沢忠太郎

三番 福田保徳

二四番 山本 昇

二五番 松本藤太郎

二六番 可世木芳蔵

二七番 鈴木 孝

二八番 山口 康

二九番 速山三平子

三〇番 磯辺周雄

三一番 大野幸五郎

三二番 望月暁作

三三番 田中忠次郎

三四番 飯田義男

三五番 嶋田 敏木

一欠席議員 (一名)

二一番 荻生田七郎

一五才二白三十一才による出席説明員

市長 田村利男

助役 小出武男

総務課長 兒戸 貴

建設課長 新井重勲

倉庫統計課長

吉田耕一

厚生課長

神作治次郎

総務課長

伊藤幸太郎

戸籍課長

高木哲三

監査委員

奥武夫

一本議会の事務局長、書記および職員

事務局長

高柴清一

書記

石田博雄

職員

畑中弘敬

同

山口晴之

昭和三十三年能山町議会为之回臨時会議事日程

昭和三十三年十一月四日午前十時開議

昭和三十一年報告書、昭和三十一年度十月創刊第五期報告書

日程第二 議案第九号

都市計画街路事業橋梁架設工事請負契約締結に

つりて

議案第十号

都市計画街路事業橋梁架設用資材購入に

〃 議案第九号

館山市分館金庫創設に

〃 議案第十一号

昭和三十一年度事業別予算金の賦課総額に

〃 議案第十二号

市内中用水路改修事業用資材の購入に

〃 議案第十三号

神奈川(加藤)暗渠完全排水事業用資材の購入に

〃 議案第十四号

昭和三十一年度館山市入才出資加更正予算

一 本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

議長(石井深君) 本日の出席議員計三十三名。これより第十五回市議会臨時会を開会いたします。

○議長（石井 潔君）本臨時会の議案審議のため田村市長、小出助役、
見戸祐祐課長、新井建設課長、市田農産統制課長、神作富雄課
長、伊藤茂祐第二課長、高木戸籍課長、奥野吉幸員、以上の出席
を求めまうので御報告申し上げます。

○議長（石井 潔君）こつこつ会議録書きの進捗を伺います。
お諮りにいたします。従来の例によりますと議長の指図により決定する。
ことに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 潔君）御異議ないと認めます。よつて大審議員秋山万次
君、三十一審議員大野清五郎君、以上御両君に決定いたしました。
ことに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 潔君）御異議ないと認めます。よつて決定いたしました。

義海

書

（書記朗読）

報告第二号 昭和三十一年度十月創月検査報告

（馬田繁子君 登壇）

〇三五番）馬田繁子君（例月検査の結果は御報告書にのべて置かれていますので、
詳細にお話ししてござりますが、さうは申しながらこれに敷衍したりと存
います。

まず一般会計からはいふところとありますが、一般会計のうちの収入の部の
市税につきましては申し上げますと、検査後六百六十一万四千四百二十二円、さう
いう収入になっております。この主なるものと申し上げますと、市民税に
おきまして二百三十九万八千余円、固定資産税におきまして一千九百三十三
万余円、たゞこの消費税におきまして百四十万五千余円、電気ガス
税におきまして六十万二千余円、これが主なる収入とござります。

収入未済額におきまして、八千三百九十一万六千余円、これが未済にな
っておりますが、実質の繰越を申し上げますと、三千八百二十万五千余円。

これが実質の滞納であります。さうしたことを現年度分の未清と前年度以前の滞納とに区分けしてみますと、現年度分の未収が一千万六千二百零九年、前年度以前の滞納が二千五百六十四万零九年、この二つの滞納となっております。

つぎに税外収入のものを申し上げますと、検査後に七百七十九万八千零九年、これだけ収入でございますが、このまゝなるもので申し上げますと、地方交付税にあきまして、百六十二万三千零九年、使用料および手数料、これは主に振替料でございますが、これが六十三万八千零九年、国庫支出金にあきまして、生活保護費二百十五万五千零九年、これは国がハ割合に押さえております。失業対策事業費補助金、これが四十三万七千零九年、雑収入にあきまして、前年度収入といたしまして、四十五万、それからこの税外収入でございます。さうしたこの際、収入にさうしたことで参考までに申し上げますと、九月末の収入累計と前年度に比べて、たいていパーセンテージでございますが、これが三〇・八パーセント徴収してあ

官山行義

公募債に付する元金償還分ですが、千葉銀行、信託山支店から借りてあるものとござります。これが五十七万、利子支拂いで、九重農協、千葉銀行、郵政省、とついでとつから借りてある利子分とござりますが、これが五十二万一千余円、これが大伴の検査後にのきまて支出したまへた主なる数とござります。

それより国保の第一般会計より費用とあります。證はいろいろ記載してあります。通り百二十五万、費用はなっております。

収入支出の詳細は次ページに書こうとござりますから、これにたいひ一つ、解りやすくあなうたり、こうなします。

一般会計はそれだけにして、つぎは特別会計、公益食屋でございますが、これはこの表によつて簡単なものとありますから、解りやすくあなうたり、こうなします。

これは特別会計の国民健康保険でございますが、これは収入のみの保険料、これが大きな数字となりてあるんですが、五十九万、この

後徴収してありません。収入未済額としましては二千三百三十九千五百
余円、このようにお数字をキーてありますが、この詳細は次のページに
の収入未済額というところに詳しく書いてありますから、この詳細はこ
れによって御承知のとおり、このようになります。

収入未済額の最後のページですが、事業勘定としてしまして、保険料現
年度より一十六万九千九百九十九円、このようにお数字が出ておるものが
これは期限到来分と期限未到来分の合計であります。これも
期限到来のものとして未到来のものと分けてあります。期限到来
として記入してあるものが四百六十六万八千九百九十九円、期限未到来のもの
の先とるべき額であります。これが一千三百三十九千九百九十九円、この
ようにお数字をキーてあります。滞納繰越金は、これも前年度
以前の数字であります。

なお御参考までに申し上げておきたいと思いますが、給付金すなわち、医師
支払ったものです。これは九月末までのものですが、お大目十四万一千円

をいたします。

○二番（嶋田社作君）安藤組といつのはどうなるか。

○建設課長（新井重助君）安藤組といつのは前の西本建設でござり

まゝ今回名前が変わりまゝ安藤建設となりました。

○三四番（飯田義男君）着工と完了ですが、大体いつになるか御予定で
すか。

○建設課長（新井重助君）お答でございます。これは契約後、明年の三月三

十一日に完了する予定です。（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○五番（津田君）仮の仮設でございませうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井清君）議案十九号、議案十九号、議案十九号、議案十九号、

議案十九号、議案十九号、議案十九号、議案十九号、

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井清君）議案十九号、議案十九号、議案十九号、議案十九号、

り決定いたしました。

の議長（石井清太郎）つづいて御座る三議長（木村十次郎、橋本市介、西村金太郎）
例制はつづいて御座ります。

本議事は三回市議会は創会に上掲され、地方自治法の規定に
基き公聴会を開催した必要上、本府府政委員会に休会中継続
審議には議決案件でありますので、まず本府府政委員会の
委員会の審議の経過ならびに結果の御報告をいたします。

二十八年度議決山口県君——

二十八年度（山口県君）件が悪いので自派にありて決断いたします。

たがも議長となりました議長（木村十次郎）橋本市介、西村金太郎、
つづいて御座る。本府府政委員会にありて。審議の経過ならびに
結果の御報告を申し上げます。

本議事は三回九月三十日市議会の三回市議会は創会に提出され

同日船舶管理が完了した後、地方自治法第二十七条の規定に基き、本町会にありてこの審査ならぬに公聴会開催の必要があるとして、本町会に休会中、審査の特例付託となりまして、従つていつ十月八日十一日の本町会を開催し、まず本条例につきまゝして詳細慎重な審査を完了した。ついで地方自治法第二十七条の規定の按察をいたしまして、結果、公聴会は本条例成立の要件であることも確認。十月二十八日午前九時、公聴会にありて公聴会を開催することと決定した。これが公示の通り、茲は各農業協同組合とすること。利害関係公述人の申込を締め切りは十月三十一日として、公聴会開催者として土地改良事務所。農事試験場、安房町農会、町農業委員会、代表者の三つを依頼することと決定し、その船舶の手続等の決定がなつてしまつた。ついで十月三十一日委員会を開催し、十月三十一日締めのりとなりまして、利害関係者公述人の選考を完了して、ついで申込者の

全員に出席を求め意見を聞くことに決定され、ただちに出席者の
通知書を発送した。二十八日開催の公聴会にあり、手続はなご
びにえがす法等の調査研究が行われました。つぎに十月二十八日
午前十時より公聴会を開催し、あつて出席者を通知したところ
きまつた。参事関係者の山口満次氏、中山忠大氏、加藤喜久雄氏、
加藤茂氏、あまぐさ滋雄氏、農政工や改定事務所長、
稲子安房子参事長、参事お農業委員会会長、職務代理者、以上
七名の出席のもとに公聴会を開催、まず参事関係者より逐次
本条例制定に関する意見の発表をめぐり、ついで滋雄氏関係者
の方々の意見を述べましたところ、全員が本条例制定に賛成するこ
とを表明した。この御意見により、本条例制定の目的を達成し、参事
関係者の意見を十分採入れる方法を講じてほしいこと、なごびの
意見する参事一々ほいこと、参事関係者による参事関係の
のかねを認めてほしいこと等が主なる意見とせんじやうした。

とに秀異の議をぞりませしか

(「翼緩な」と呼ぶ者あり)

○議事一 井澤君（御質問）としておます。よつておの十五子議事は、
その長教を通り、可決確定されました。

護身(る)并(守る)こつて月程かた儀を才百一と云ふに按り方しむ。

議案第101号 昭和三十三年度の事業別分担金の賦課総額について
の農産統計課長（市田耕一君）議案第101号は、さきかへて御説明申し上げます。
三十三年度の事業別分担金の賦課総額をこのようにして決定する
と考へるのひらきがあります。したがって九十九号の議案第101号は、さきかへて
率制化をせまうと一回のみの事業に対して賦課金の総額を
決定したのと同じと考へるのひらきがあります。

一の岡田農道改修事業費の分担金の総額が五十二万五千円に達する

してゐるの国ならびに市の財政上は補助を降した事は如何なる事
 由の三十万二千円を不現金として賦課してゐると考へてゐるのか
 オ二のお野尾農道改修事業費を不現金の総額として考へます、事業費が
 五十二万二千円になります、国ならびに市の財政上は補助を降した額の
 半額内にあつては三十五万六千八百円を賦課してゐると考へてゐるの
 ですか、オ三の河井川路改修事業費の不現金の総額として考
 へます、事業費が三十八万六千八百円になります、市及び市の
 不現金は補助を降した額に對するものの不現金は三十一万七千
 円の、河井川の橋梁完全撤去事業費の不現金の賦課総額として考へ
 ます、事業費は三十二万七千五百五十円に對するものの、市及び市の補助
 を降した額の六十一万五千九千三百五十円を賦課してゐると考へてゐるの
 ですか、オ四の林道新設事業費の不現金の総額は三十一万七千五百
 事業費が九十三万九千三百六十円に對するもの、河井川の河井川
 である補助を降した、総額六十一万三千三百六十円を河井川に對して

ほかに見込まれることになってあります。(一)補助の対象にならな

い金があるといふのが「と呼ぶ者あり」(木下さんか補助の対象にな

つてありませんので、工事をするにはどういふのが必要になりますの

でうの数が余分に(一)補助の対象外は何に使う金主に「と呼

ぶ者あり」(事務費)であります。事務費は木下とかどういふのが

全部補助の対象外になってあります。(一)事務費なんぬいふんで

すか、市の何が行なうものか事務費なんて特別必要でいふか

と呼ぶ者あり(一)市長のいふことか、検査のときの必要は金が国

の対象工事費のうちに入つてあることになってありますから予

算を組んでありますが、うへに見積書と対応して(一)むづかしい

な、五十何万といふのと「と呼ぶ者あり」(国の対象はなによりが、二十六

万二千円であります。国庫の農道の場合の下と(一)補助の対象に

なかり金が「と呼ぶ者あり」(三十三万四千円)か(一)むづかしい

下といふ「と呼ぶ者あり」(一)出張費の積算表の場合の三十三万四千円

新創のオミヤとのみらみせ。このところがよいからいへるが、
 お金金の賦課税額な事業として、当該年度に於ける事業に要す
 る経費のうち、国または県が負担し、もしくは補助する。額を除いた
 額を、この間に、税使ぬらひして、税額の議決を爲てたやう。
 この使連性を、さうとありかゝるべし。このところを、ひとくち商談
 明しくした方がよいと思ひます。

戸籍課長（高木村三君）にお参り申上ります。岡田の農道より県合で
すと、事業費は五十九万二千円になります。

三回番一柙用義男君（体愈々かゝります）
（「体愈々かゝります」と呼ぶ者あり）

○漢長(子井津屋)ハ、
人々を驚かす。

午前十一時十分 午後

年所十一時三十二分所議

○議長(石井 澤男) 再開します。

ここにあらうところが補助の対象外の金額になってあります。

畑林道の雑費二十五万九千円となっておりますが、林道は用地費
収の費用は補助の対象になっておりませんので、これを雑費と
して二十五万四千円用地の買上代として見込みました関係で、こ
の大きい数字になってあります。買上代の雑費でございますが、田が
坪三百円で五万八千坪、畑が坪三百円づゝる六十八坪、山林が百円
づゝる八十一坪、宅地が四万円で二十坪 以上です。（合計が二十一
万四千円）と呼ぶ者ありし二十五万四千円になってあります。

〇三番（望月輝作君）こんどの合理化の話題については、生産面に大
きな影響がある工事でございますので、国の補助金というものは
大分先ほど聞きました基準というものは示さずありますので、
市においての基準がどうなるか、また、こゝの県令における
こゝの市の負担がどうなるかに懸念が、大分あると聞か
すきやうなりか、こゝの市に於いて、市がこゝの事業について

よつて夫ほど御意を申すかあった通り各事業団体部は口あひは
物事のよでやつたことと思われまふので、分相金が實際問題と
してその事業としてある場合には、元負担が多いといふ感がい
かあります。元負担をいだけぬと、さういふ団体で大体
三分の一程度をあげて、さういふことにより、その事業未
了のものは、私事業を通り賛成りたします。

議長（石井 深君）他に御質疑ございませんか。

「異議なし」と呼ぶ者ありし

の議長（石井 澤 君）御異議なしと仰せぬす。よつて本案は三案本通り可決確定いたしました。

議長一石寺澤君（ついで同席の六に宛し）お説り
申上げます。百二と議案。百二と議案。なともは宛連名の
お説りなす。ついで同席の六に宛し）お説り

と思いますが、御異議ござりませんか

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(石井 清太郎) 御異議ないかと認めます。では、この案は「よし」といいます。

(皆 起 立)

議案第10号 町中用水路改修事業用益料の購入について
議案第11号 町中(加藤)地区排水事業用益料の購入について
の費用概算課長(吉田 耕一) 議案第12号 町中用水路改修事業用益料の購入について
まー、御説明をいたします。

この案については、町中の用水路の改修事業費の一部を
町の購入するものとして、町中用水路改修事業費(町中用水路改修事業費)の
町中用水路の改修事業費の一部として、町中用水路改修事業費(町中用水路改修事業費)の
町中用水路の改修事業費の一部として、町中用水路改修事業費(町中用水路改修事業費)の
町中用水路の改修事業費の一部として、町中用水路改修事業費(町中用水路改修事業費)の
町中用水路の改修事業費の一部として、町中用水路改修事業費(町中用水路改修事業費)の

予に入才出給の便に任ずるを以てせしめたる事

(書 記 類 集)

海軍省の昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

。農産統計課長(吉田耕一君)追加更正計算の四半に於ては、説明を以てする事

最中に才出から説明を以てし、説明を以てする事

産業省の海軍省の昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

たいたいの事なす。これは農産省の海軍省の昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

まゝで結束を以てする事。これは農産省の海軍省の昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

の事なす。これは農産省の海軍省の昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

もの事なす。これは農産省の海軍省の昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

か、昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

換ふから、昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

この事なす。これは農産省の海軍省の昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

合、海軍省、印刷製本費、その他、海軍省の昭和二十二年は海軍省に入才出給の便に任ずる事

でございます。おせまーに二百二十万五千円を見込にたけがござります。
おれもな落しまいとござりますが、田町の小田氏の整備事業費の補助
でございますが、岡田ほか四団体でございますところの岡の補助の
総額九十九万。おせまーに二百九十六万五千円を納入に見込にたけ
けがござります。以上でございます。

○議長（石井 澤 君）本業にたいして御質問でございますか。

（「異議ない」と呼ぶ者あり）

○二番（石田 豊 彦 郎 君）異議はありませんが、おれ田町分金といたしまして
に使連一まいてすまうと、ネー税務課長さんにお尋ねしたいと思ひます。
直接この予算の問題はなんでしょうが、こういった問題にはござりますか
とござります。例えが四人世帯でありまして一人が学校へ行って一人
が専婦でもって三十七、八万円とこの家計を補つてゐる女。その親たちが
今大卒を越した人になつておるご家庭でもござりますが、これにたい
してはあつたすにもおれおれがござる。生計の支辨ともいわれる。おれ前

は籍が違ふ実存上なれども、その基礎になつてゐるものの
 以外に、その人が、二階にはなつてゐる、か、け、い、わ、つ、て、い、ま、う、と、い、ふ、は、向、違、つ、
 こゝろ、と、い、ふ、か、あ、る、の、こ、と、と、い、ふ、か、こ、の、方、に、い、つ、て、御、説、明、お、か、り、た、
 といふ思ひです。

また、その方にも、~~新~~創が、あ、つ、ま、す、の、ご、ん、の、際、御、説、明、お、か、り、い、た、し、
 ます。それ、は、向、違、つ、て、必、理、を、わ、か、つ、て、い、ま、う、と、い、ふ、か、
 といふ、と、善、外、と、い、ふ、た、だ、い、ふ、と、い、ふ、の、御、答、を、お、か、り、い、た、い、ま、す、の、
 〇か、ま、ま、(田、村、利、男、君)き、や、う、は、お、説、と、か、う、い、つ、つ、議、事、が、い、ま、し、ま、せ、ん、
 ので、お、二、課、長、は、善、外、と、い、つ、待、候、と、ま、ま、せ、ん、で、い、ま、が、こ、の、機、会、に、お、か、り、
 といふ、と、い、ふ、い、ふ、い、ま、し、ま、す、か、

〇二、番、一、寺、田、重、治、郎、君(こ、の、機、会、で、結、構、と、す、が、し、か、ら、お、説、明、的、に、
 考、へ、て、み、て、助、成、さ、し、ま、す、お、二、課、長、と、い、つ、も、結、構、と、す、向、違、つ、て、あ、る、と、い、ふ、解、釈、一、つ、
 といふ、い、ふ、い、ま、し、ま、す、か、新、説、明、に、つ、て、結、構、と、す、

〇議、長、一、石、井、澤、君(他、に、御、説、明、さ、し、ま、し、ま、せ、ん、か、

の二三番（福岡保徳君）この百四十議案には御賛成申上りますか。

農村の食糧金および補助、交付金に関連——そして、中小企業に預託金がある。預託金のことでございましてお伺いしたいと思ひます。

中小企業に補助金とか食糧金とかありますので、預託金が中小企業の生命になっておりますので、食糧状況やなんかについてみますと大して利用してあるまいという状況なんですすが、なんでも監督がどういふなりかと思ひますので、その制度についてお伺いしたいと思います。

○七番（鈴木市蔵君）いま吉田議員の質問に對して吉田議員は返答にございまして了解したように考えられてますが、この問題は神戸市に於いて相當にどういふ人がある。一例を言いますと、山口が自分の仕事をやっておいた。この人は對して市民税の均等割であるのは税割といふものがきておいて、その税の未世人にやはり均等割がきておいて、なんといふうなことがあつてますが、この点は現在どういふに控へてあるかは抑止

決定いたしました。

○市長（田村利男君）　ただいま前回の議長補選を呼んでござりますが、よろしく
お願いいたします。

○議長（石井孝雄君）　お諮り申し上げます。ただいまの御会場の様子、御座います
の出席を要求したとおりと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井孝雄君）　御異議なしと認めます。よつてこのようにいたします。
福岡議員の會田口好一君は、いま市田前議長から答弁をされます。
○農産統計課長（吉田耕一君）　ただいまの市の農産金融に對しますところの
状況その他につきましては、お話をさせていただきます。又、申し上げてみたいと思つ
つております。

多少御質問と會違ひ兵が出るかも知れませんが、その兵はまたお答をいた
したと思ひます。御筆のよろしく三百万五千圓、興業銀行、信山支店

へ申上げつあるのござらまへ。私たちが委員が決定機関でございます。
さしで結局決定は金融機関がするといふふうになってあります。関係
で私たちの意見も採入れなり、又等々あるわけでございますが、
私たちもできるだけ借りのうちでの状況等をお伺ひいたし、ござ
る限り金融面でおぬがりつあるような設備でございます。現在
実際に申込まれた数字の半分にも満たない程度の貸出状況ござ
ります。大々おわび申上げざるを得ませんが、しゃくながら、要所
におきまして利用されるうちでも理解と協力をもよく御願いな
が。降々にどううござる方がなくなつてきてよくないにやないか。
いろいろな考え方もござつてあるわけでございます。そんなことも十分
おそな留意いたし、まへこの費用にまつて行きたいと考えてありま
すので、御しんぬが、いふことと思ひます。

〇二三番）信用保証者（保証金と三百万）をもって九百万借り入れ
するの保証一百万だけの金で十分と、何の人もいふに、金貸し一なりと

いうことはなんかに創設するの考へでは銀行も一応の準備を
して三層の古庫をとり、百五十万ずつで四層をとり、百五十万ずつ
きるようになるとか、そういうことができれば有利に貸せるんじゃないか
それでは銀行も準備していいんじゃないかと思つて
すが、中小企業の人びとのなかにもこの銀行には寄きらしいといふ
この銀行には寄きづらいいといふような人もあるわけですが、一筋に決
りてあるといふことで自体が九百万使てるものも四百五十万、半分の
貸付などあつたといふ状況ができてあるんじゃないかと思つていすけど、
これは中小企業に対して金融をしようとするんだか、あらないんだか
わからない状況で、一筋だけにとどめるのか、積極的な感じがと思つ
てゐますが、その点も一応お伺いしたいと思つてゐます。

○市長（田村利男君） たいしまあ銀行にはあながり一とあるわけですがいま
すが、これはよその銀行へ頼んでもいいわけでありまして、また現実に
あつた銀行を全面的にこの委託を放つてきつてある金融団体に

うづうづ法もあると思う。三百万円出ると三百万円借り込んだら
出す必要はない。銀行に奉仕してるとこいつが苦です。

ふたつていふがさうりと云ふはすゝ風一歩はす。

官山古義

諒するといふことはせまじやうといふことなむが、いふこと二人
 います。百姓かといふにゆかなうといふことも、草擇りぐらゐの
 こゝにはありません。いふこともありません。おひやくも、ふたも、さんり
 うことにはなりぬといふことですが、この年暮りに對して、我々が、その説明
 が、無かつたかも知れませんが、之に對して、我々が、まゐる。世勢は、なす
 我々の、世勢は、まゐる。突然であります。この我々の、まゐる。家ノ、まゐる。
 くらゐ、なう、いふか、といふこと、が、内閣、か、いふが、いふ。いふ。いふ。
 いふ。各、方面に、對して、いふ。内閣、が、非、まゐる。いふ。いふ。いふ。いふ。
 いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。

Хотите ли?

321214676

○議長（石井 洋次郎）他は御賛成なればよろしくおひります。

之
昔
之
ま
で
し
た

午後二時三十分開會

三十二年十一月四日

廣州市議會議長
石井 潔

公議録番子議人 大野清五郎
同 秋山万次

